

メルヘンハウス通信

今月の和とく情報

観劇と着物について

着物を着るチャンスはどんなときでしょうか、数ある理由の中でお洒落をして出かけたいドレスアップをしてのお出かけの中にはお芝居や音楽会の鑑賞、コンサートやオペラを聴いたり歌舞伎や文楽、お能などを観に行くなどなど色々あります。

観劇の内容や公演が行われる会場も含めて、さてどんな着物を着ていこうかと考えるのもとても楽しみで心が浮き浮きする気分になります。そして季節に合わせた装いを考えて自分の為に組み合わせを考えたり悩んだりするのうれしい作業ですね。

最近では歌舞伎を観に行く着物姿の方々が多くいらっしゃいます。若い方も増えているようです。伝統芸能の舞台を観るのに着物で座っているのは舞台上で演じている役者さんからも、案外客席が見えているのだという事を聞いた事がありました。そして着物姿が多いのは華やかでうれしいと話もされてきました。

これからの和とくポイント

着たい着物が原則



観劇当日にどんな着物を着て行こうかと思う時、絶対にこの種類の着物でなくてはならないと言う原則は基本的には何もありません。好きな着物を好きなように着て楽しい気持ちで出かけるのが原則ですから、難しいことは何もないのです。

紬類が大好きであればそれでよいし、小紋のような柔らかいものでも良いですし、日頃着たいと思う着物に袖を通し、帯を組み合わせ、小物を合わせて出かける…それこそ自由にお洒落を楽しむことが大事なのです。

様々な場所で様々な着物を着た事は思い出すとその時に見た芝居やコンサート、一緒に行った友人まで鮮明に思い出すから不思議です。着るものに心を砕いたりして出かけたことは、思い出として膨らみ印象に残り充実した贅沢な刻を過ごせたと言うことですね。

洋物のコンサートや演劇、お知り合いが出演されている場合は、なるべくお花の帯を締めます。花束を持って行く代わりに気分を、それとなくモダンに軽やかにしたり、和物のお芝居では、演目によって粋にしたりクラシカルにしたり、装いも千差万別にしたり、落語を聴くときはカジュアルに小粋になど、自分ながら楽しみ、いつも同じようなスタイルではなく、変化を付けて衣装を着けることは、まんべんなく箆笥の着物や帯に風を入れるので良いですし、気がつかないシミも発見することもあります。芝居や音楽会での着物姿が一人でも多くなることを願っています。

キモノが似合う風景の旅



やしまからのお知らせ

感謝御礼

おかげさまで「店舗改装 店じまい」には大勢の皆様にお越いただき誠にありがとうございました。

感謝します。

休業のお知らせ

12月11日(木)～16日(火)は開業の為、休業とさせていただきます。

高岡教室開講(小矢部教室追加開講)

高岡文化ホールにて着付教室を開講します。小矢部の教室が遠くて通えない方は是非、高岡教室(高岡文化ホール)で習ってみてはいかがでしょうか。

11/7(金)締切り!

今ならまだ間に合います!

◆受講生募集:2時間の教室…

<高岡教室>

午前10:00～12:00…土

午後14:00～16:00…月・土

夜間19:00～21:00…月・水・木・土

<小矢部教室>

午前10:00～12:00…月

午後14:00～16:00…月・木・日

夜間19:00～21:00…火・木・土

※1教室3名様が集まり次第、開講となります。

催事・イベントのお知らせ

店内改装オープン

とき 12月19日(金)～

和ごころのおもてなしをモットーにやしま呉服店が心機一転します。ご期待下さい。